

つながりサロン

地区の民生委員の人が中心となり地域の交流の場として開始されました。毎週月曜日の午前10時から正午まで近隣の高齢者の人たちが集まり、お話を中心とした茶和会など思いの時間を過ごし地域の交流が行われています。現在は15～18人となり、活動の幅を広げています。



卓球珈琲

タッキョウ カフェ

卓球で健康になりカフェで交流を深めることを目的に民間4者と、行政が連携して開始された全国初の取り組みです。1階に卓球台を置きイベントのない平日は自由に利用することができます。また、1杯40円から100円で楽しめるホットとアイスコーヒーマシンが設置されており、卓球をしながらコーヒーを飲んで幅広い世代の交流が行われています。



卓球珈琲オープニングセレモニーの様子

内閣官房創設

「beyond2020マイベストプログラム」に認証されました

このプログラムは2020年東京五輪・パラ五輪を契機にアスリートのみならず一人ひとりが健康面などでの「自己ベスト」をめざすことができる環境を提供している活動を内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局が「beyond2020マイベストプログラム」として認証する制度です。

令和元年5月8日、自治体が住民向けに実施する事業として初めて、卓球珈琲が「beyond2020マイベストプログラム」に認証されました。



桑名のまちづくりが進んでいく様子をシリーズ化してお伝えしていきます

シリーズ 伸びゆくまち・桑名

第16弾 まちづくり拠点施設の取り組み

市では、地域コミュニティの担い手である住民、企業、行政などが一体となって、地域課題を解決し、地域に暮らす人たちの思いを生かした地域づくりが推進できるよう平成30年4月に「公民館」や「地区市民センター」を「まちづくり拠点施設」へと機能転換しました。これまでの社会教育法に基づく施設のあり方を大きく見直し、利用に関する規制を緩和することで、幅広い活動が行える施設へと生まれ変わりました。

市内にはこうしたまちづくり拠点施設が20カ所あり、子ども食堂や夏休み学習会、高齢者の通いの場などといった活動が地域の皆さん自らの発想で、主体的に立ち上がってきています。

今回はその中でも市民の皆さんがまちづくり拠点施設を積極的に活用し地域課題の解決に向けて取り組んでいる城南まちづくり拠点施設の活動を紹介します。

地域コミュニティの場として「まちづくり拠点施設」を活用してください

自分たちの地域に関わる課題などを、行政だけではなく、行政と地域の住民と一緒に考え相談し、一緒に取り組むことができれば、それぞれの地域の実情にあったきめ細やかな対応が可能になります。

そのためには、地域のことをよく知る地域住民の皆さんが主体となり、行政がそれを支える市民参加型のまちづくりを進めることが必要であると考え、まちづくり拠点施設を地域のさまざまな活動が行える場所として開設しています。

ぜひ、皆さんも各地域のまちづくり拠点施設を地域の交流や地域課題の解決に取り組む場所として活用してください。

問 地域コミュニティ課 (☎ 24-1204 FAX 24-1735)

子ども食堂いな穂

城南地域のボランティア団体「城南こどもくらぶ」は、毎月第3土曜日に子ども食堂いな穂を城南まちづくり拠点施設で開催し、毎月80人近くの子どもの皆さんが訪れています。

旧地区市民センター1階事務所受付カウンターを撤去し、部屋全体を食堂にして、皆さん楽しく食事をとっています。

